

第2章 目標と施策の基本的方向

1 目標

本格的な人口減少社会の到来による、地域を支える人材の減少に加え、AIをはじめ技術革新の一層の進展やグローバル競争の激化など、社会情勢が目まぐるしく変化するなか、先を見通すことや文化・伝統を継承することがますます難しくなると見込まれます。

このような時代だからこそ、子どもから高齢者まで一人ひとりが夢や希望を抱き、社会の一員として生きがいのある人生を送ることが求められます。

そのため、先人たちが築き上げ、守り続けてきた郷土の財産を大切に未来に継承するとともに、生涯にわたる様々な学習活動を通じて、個人の資質・能力を高め、その成果を自らのキャリア形成や地域の課題解決・魅力づくりなど様々な分野で発揮することができる心豊かな市民を育むことを目指し、次のとおり目標を定めます。

飛騨高山に誇りと愛着を持ち、学び得た知識や能力を活かし社会で活躍できる心豊かな市民を育みます

2 施策の基本的方向

目標を実現するため、学校・家庭・地域・行政等が協働して取り組む基本的方向を次のとおり定めます。

基本的方向 1

郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育みます

郷土の文化や伝統を活かしながら、主体的・対話的に学ぶなかで達成感と貢献感を積み重ねることによって、自ら挑戦しつづけるたくましさなど未来を切り拓くための資質・能力を育みます。

そして、本市で生まれ育った子どもたちが、郷土高山への誇りと愛着を持ち続けながら、将来地域社会の発展に貢献したり、世界で活躍したりすることができる夢と誇りとやさしさにあふれる人に育つことを目指します。

基本的方向 2

学びの場の充実とその成果を活かすことができる環境を整えます

人生100年時代といわれる中、人々が安心して暮らせる希望ある社会の形成が求められていることから、誰もが生涯に渡って学んだり、社会で活躍する中で生きがいをもつことができる環境の整備をすすめます。また、社会の持続的な発展に向け、子どもたちの郷土愛と夢の育み、若者や女性が活躍しやすい環境づくりに資する学びを推進するとともに、安全で安心して暮らし続けられる地域社会の形成に向け、地域づくり活動の充実に資する学びを推進することで、地域コミュニティの活性化を図ります。

基本的方向 3

スポーツに親しみ、心身ともに健やかに暮らせる環境づくりをすすめます

健康づくりや軽スポーツに親しむといった機会の増加や、新しいスポーツへの関心、そして本格的な競技スポーツへの取り組みなど、スポーツに対するニーズは、多様化し、また高まりを見せています。

スポーツは、ストレス発散や生活習慣病予防などの心身の健康保持・増進のほか、人と人、地域と人の結びつきを強める力もあり、心身ともに健やかな生活が送れるよう、誰もが無理なくスポーツに取り組める環境を整えます。

また、高地トレーニングエリアに代表されるように、地域の特徴を活かしたスポーツによる地域振興をすすめます。

基本的方向 4

歴史遺産と伝統文化が暮らしに息づく「飛騨高山」を守り伝えます

本市では多くの歴史遺産や伝統文化が人々の暮らしの中で脈々と受け継がれてきています。

これらの歴史遺産や伝統文化と人々の暮らしが一体となって形成された環境を将来にわたって継承していくため、郷土の歴史や伝統文化の価値を理解し、「飛騨高山」への愛着を高める取り組みをすすめるとともに、新たな技術を活用しながら歴史遺産や伝統文化を広く情報発信するなど、地域の活性化に繋げる取り組みをすすめます。

基本的方向 5

日々の暮らしのなかに文化芸術を息づかせます

文化芸術は、豊かな人間性や地域を愛する心を育み、人と人をつなぎ、地域にやさしさと活力を生み出します。こうした文化芸術の持つ力を踏まえ、市民の文化芸術活動を推進するとともに、飛騨の匠に代表される木の文化などの文化芸術資産の継承と磨き上げをすすめます。また、文化芸術の創造性を地域の活性化や産業の付加価値向上に活かすとともに、多様な文化交流を推進します。こうした取り組みを通じて、日々の暮らしの中に文化芸術が息づく創造力に満ちた豊かな社会の形成を促します。

計画の全体像と施策の体系

